

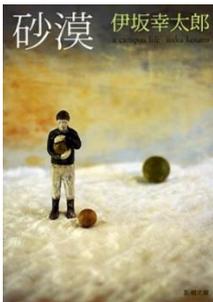
高校生の

推し本！



茨木市内の高校に通っている生徒のみなさんに「推し本」を教えてくださいました！

その中から、いくつかご紹介します。ここに掲載できなかった本はHPに！！



「砂漠」(伊坂 幸太郎)新潮文庫

大学生の男女5人の日常を描く。何気ない日々で経験するイベントがそれぞれの人間関係をかけがえのないものにしていく。平凡に生きてきた主人公が世間という「砂漠」に足を踏み入れる少し前の「オアシス」の物語。

高校時代に出会ってよかった1冊だ。(PN つれづれなるままに)

「博士の愛した数式」(小川 洋子)新潮文庫

記憶することができなくなってしまった博士や家政婦とその子どもの心温まる物語です。少し風変わりではありますが、心優しく、親しみを持って子どもに接する博士が僕は大好きです。内容としても読みやすいので是非！

(PN タロウ)



「中国嫁日記」(井上 純一)KADOKAWA

中国人嫁の月ちゃんとオタク夫氏とのちよつとちぐはぐな、愉快的結婚生活。中国と日本の文化や習慣のギャップも学べます。(PN K)

「のだめカンタービレ(全25巻)」(二ノ宮 知子)講談社

完結して何年も経ちますが今さら！ハチャメチャだけど力強くどんどん前進するのだめが、たくましくうらやましい！（笑）

音楽が好きなので何回読んでも惹かれます！（PN K）



ウラ面へGO！ ➡



図書館で高校生に人気！



2018年から2020年に図書館で高校生によく借りられた本を紹介します。

「こころ」（夏目 漱石）／「人間失格」（太宰 治）

「ソードアート・オンライン」（川原 礫）／「阪急電車」（有川 浩）

「また、同じ夢をみていた」（住野 よる）／「容疑者Xの献身」（東野 圭吾）

「響け！ユーフォニアム」（武田 綾乃）／「万能鑑定士Qの事件簿」（松岡 圭祐）

「コンビニたそがれ堂空の童話」（村山 早紀）などなど…まだ読んでいない人は是非！

Do You Know

イバハル 10代の本棚



What is 「イバハル」？…「茨木」と「青春」の訓読み「アオハル」から作った造語です。

茨木市立図書館（中央・中条・水尾・庄栄・穂積）では、これから社会に出ていく10代の皆さんに必要な知識や情報を提供するために、【勉強・受験】【就職・職業】【部活】などのテーマの本や、おすすめ小説を集めたコーナーを設置しています。ぜひ一度、お近くの「イバハルコーナー」を見に来てください！

あなたの推し本教えてください！

イバハルページから受付中です。



茨木市立図書館



イバハル 10代の本棚



としょかんたろう



中央図書館イバハルコーナー

令和3年(2021年)11月 茨木市立図書館 発行